

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年10月12日
【四半期会計期間】	第30期第1四半期（自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日）
【会社名】	株式会社 I G ポート
【英訳名】	IG Port, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石川 光久
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市中町二丁目1番9号
【電話番号】	0422 - 53 - 0257
【事務連絡者氏名】	管理担当執行役員 栗本 典博
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市中町二丁目1番9号
【電話番号】	0422 - 53 - 0257
【事務連絡者氏名】	管理担当執行役員 栗本 典博
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第1四半期連結 累計期間	第30期 第1四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自平成29年 6月1日 至平成29年 8月31日	自平成30年 6月1日 至平成30年 8月31日	自平成29年 6月1日 至平成30年 5月31日
売上高 (千円)	2,100,406	2,122,297	8,426,163
経常利益又は経常損失() (千円)	198,091	145,324	386,730
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期 純損失() (千円)	178,370	134,475	147,139
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	175,569	174,932	185,051
純資産額 (千円)	4,879,596	5,157,840	5,369,062
総資産額 (千円)	9,131,946	9,837,801	10,161,440
1株当たり当期純利益又は1株当 たり四半期純損失() (円)	37.50	27.41	30.77
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	50.4	51.2	51.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第29期第1四半期連結累計期間及び第30期第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第29期は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり当期純利益又は1株当たり四半期純損失については、算定上の基礎となる期中株式数から控除する自己株式数に、従業員インセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託口が所有する当社株式を含めております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の保護主義的な貿易政策が世界経済に影響を与える可能性や、先進国での金融出口戦略の影響が懸念される等、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画・製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,122,297千円（前年同期比1.0%増）、経常損失は145,324千円（前年同期は198,091千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は134,475千円（前年同期は178,370千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「フリクリ オルタナ/プログレ」、テレビ用アニメーション「進撃の巨人 Season3」「フューチャーカード 神バディファイト」「ゆらぎ荘の幽奈さん」「フルメタル・パニック!」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

新規受注の映像制作では、現況に合った確度の高い映像制作予算の策定をし受注額の交渉を始めましたが、前連結会計年度から続いている映像制作については、引き続きCG制作費や外注費の高騰、制作期間の長期化により厳しい状況が続いています。

以上により、当事業の売上高は1,602,078千円（前年同期比4.0%増）、営業損失は61,448千円（前年同期は240,761千円の営業損失）となりました。

出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「あまんちゅ! 13巻」「リンカーネーションの花弁 8巻」「ドラゴン、家を買う。 3巻」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍17点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リンカーネーションの花弁」は、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は227,292千円（前年同期比19.0%減）、営業損失は783千円（前年同期は11,446千円の営業利益）となりました。

著作権事業

著作権事業におきましては、「B: The Begining」「進撃の巨人」「宇宙戦艦ヤマト」「魔法使いの嫁」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

魔法使いの嫁の海外販売が落ち着いた事や、映像マスター及びコンテンツ資産の償却費が増えました。

以上により、当事業の売上高は213,475千円（前年同期比5.7%減）、営業損失は88,107千円（前年同期は47,549千円の営業利益）となりました。

その他

その他の事業におきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、スマートフォン向けアプリ等により当事業の売上高は79,451千円（前年同期比48.2%増）、営業利益は29,984千円（前年同期は27,312千円営業損失）となりました。

財政状態は次のとおりであります。

資産

資産におきましては、前連結会計年度末に比べ323,638千円減少し9,837,801千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が237,671千円、映像マスターが79,704千円増加し、一方、現金及び預金が431,029千円、コンテンツ資産205,692千円減少したことによるものであります。

負債

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ112,417千円減少し4,679,960千円となりました。主な要因は、短期借入金が増加し200,000千円増加し、一方、前受金が187,502千円、未払法人税等が60,229千円減少したことによるものであります。

純資産

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ211,221千円減少し5,157,840千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が159,482千円、非支配株主持分が52,935千円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年10月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	5,055,400	5,055,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	5,055,400	5,055,400		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成30年6月1日～ 平成30年8月31日	-	5,055,400	-	781,500	-	1,952,715

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,053,700	50,537	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	5,055,400	-	-
総株主の議決権	-	50,537	-

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己保有株式42株が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」欄には、従業員インセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託財産として資産管理サービス信託銀行(株)が保有している当社株式148,400株を含めて表示しております。

【自己株式等】

平成30年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

(注) 上記のほか、連結財務諸表において自己株式として認識している株式が148,400株あります。これは、前記「発行済株式」に記載の資産管理サービス信託銀行(株)が保有している株式であり、会計処理上、当社と信託口は一体であると認識し、信託口が所有する株式を自己株式として計上していることによるものであります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,525,861	3,094,831
受取手形及び売掛金	927,199	1,164,871
商品及び製品	116,099	140,796
仕掛品	2,567,587	2,511,122
貯蔵品	8,498	7,987
前渡金	244,505	243,438
その他	149,668	183,118
貸倒引当金	5,210	4,389
流動資産合計	7,534,210	7,341,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	527,209	518,717
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	274,679	354,384
その他(純額)	51,644	59,692
有形固定資産合計	1,511,695	1,590,957
無形固定資産		
コンテンツ資産	679,522	473,829
その他	32,374	35,033
無形固定資産合計	711,897	508,863
投資その他の資産		
投資有価証券	130,996	129,228
その他	312,881	307,216
貸倒引当金	40,240	40,240
投資その他の資産合計	403,636	396,204
固定資産合計	2,627,229	2,496,025
資産合計	10,161,440	9,837,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	682,363	719,609
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	73,320	73,320
未払金	531,788	491,202
未払法人税等	84,153	23,923
前受金	1,911,311	1,723,808
預り金	233,204	323,532
賞与引当金	-	49,242
役員賞与引当金	37,666	1,322
返品調整引当金	40,663	38,823
受注損失引当金	348,340	356,605
その他	361,142	203,746
流動負債合計	4,303,953	4,205,136
固定負債		
長期借入金	247,002	228,672
株式給付引当金	35,496	35,496
退職給付に係る負債	57,092	57,319
役員退職慰労引当金	43,694	44,768
その他	105,140	108,569
固定負債合計	488,425	474,824
負債合計	4,792,378	4,679,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,132,016	2,132,016
利益剰余金	2,545,435	2,385,952
自己株式	258,300	258,300
株主資本合計	5,200,651	5,041,168
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,532	2,336
その他の包括利益累計額合計	3,532	2,336
非支配株主持分	171,943	119,008
純資産合計	5,369,062	5,157,840
負債純資産合計	10,161,440	9,837,801

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年 8 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 6 月 1 日 至 平成30年 8 月31日)
売上高	2,100,406	2,122,297
売上原価	2,117,891	2,054,138
売上総利益又は売上総損失()	17,484	68,158
返品調整引当金戻入額	1,890	1,840
差引売上総利益	15,594	69,998
販売費及び一般管理費	211,366	211,322
営業損失()	226,961	141,323
営業外収益		
受取利息	69	74
受取賃貸料	10,201	6,781
補助金収入	27,476	-
その他	1,258	1,047
営業外収益合計	39,006	7,903
営業外費用		
支払利息	577	408
為替差損	2,004	679
賃貸収入原価	5,938	6,033
その他	1,615	4,782
営業外費用合計	10,136	11,904
経常損失()	198,091	145,324
特別損失		
減損損失	15,553	1,214
特別損失合計	15,553	1,214
税金等調整前四半期純損失()	213,644	146,539
法人税、住民税及び事業税	3,754	18,111
法人税等調整額	38,310	11,477
法人税等合計	34,555	29,589
四半期純損失()	179,088	176,129
非支配株主に帰属する四半期純損失()	718	41,653
親会社株主に帰属する四半期純損失()	178,370	134,475

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)
四半期純損失()	179,088	176,129
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,519	1,196
その他の包括利益合計	3,519	1,196
四半期包括利益	175,569	174,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,851	133,278
非支配株主に係る四半期包括利益	718	41,653

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、「甲鉄城のカバネリ」「あまんちゅ!」「黒子のバスケ総集編」「義経千本桜」「ブレイブウィッチーズVR」の製作委員会5社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日)
減価償却費	84,492千円	304,305千円
のれんの償却額	4,327	-

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年8月29日 定時株主総会	普通株式	24,675	5	平成29年5月31日	平成29年8月30日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託口(J-ESOP)」の導入において設立した資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金1,000千円を含めて記載しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年8月28日 定時株主総会	普通株式	25,276	5	平成30年5月31日	平成30年8月29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託口(J-ESOP)」の導入において設立した資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金742千円を含めて記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,539,990	280,456	226,359	2,046,806	53,599	2,100,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,539,990	280,456	226,359	2,046,806	53,599	2,100,406
セグメント利益又は損失 ()	240,761	11,446	47,549	181,766	27,312	209,079

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	181,766
「その他」の区分の利益	27,312
のれんの償却額	4,327
全社費用(注)	13,555
四半期連結損益計算書の営業損失	226,961

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失15,553千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年6月1日 至 平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,602,078	227,292	213,475	2,042,846	79,451	2,122,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,602,078	227,292	213,475	2,042,846	79,451	2,122,297
セグメント利益又は損失 ()	61,448	783	88,107	150,339	29,984	120,354

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	150,339
「その他」の区分の利益	29,984
全社費用(注)	20,968
四半期連結損益計算書の営業損失	141,323

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失1,214千円を計上しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年 8 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 6 月 1 日 至 平成30年 8 月31日)
1 株当たり四半期純損失 ()	37円50銭	27円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	178,370	134,475
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失 () (千円)	178,370	134,475
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,756,951	4,906,958

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、前第 1 四半期連結累計期間及び当第 1 四半期連結累計期間は、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 普通株式の期中平均株式数について、その計算において控除する自己株式に、「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託口が所有する当社株式を含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年10月12日

株式会社 I G ポート
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松村 浩司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 英俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 I G ポートの平成30年6月1日から平成31年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成30年6月1日から平成30年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 I G ポート及び連結子会社の平成30年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。